

2013年2月以降

ドアポケットに入れてお使いください

EXIGA

クイックユーザーガイド

このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方に
エクシーガを楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。
初めてエクシーガに触れられるときにぜひご一読ください。



SUBARU



クイック ユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

運転席まわり



このクイックユーザーガイドは
基本的な操作説明を中心とした取扱説明書の抜粋版のため
取り扱い時の注意点や詳細な説明は省略しております。
必ず取扱説明書をご一読ください。
ドアポケットなど取り出しやすいところに入れて
お使いください。



-  **メーター・表示灯・警告灯** 18,19
- ライティングスイッチ/フォグランプスイッチ** 8
- クルーズコントロール**  11
- EyeSight(アイサイト)ver.2**  12
- プッシュスタートシステム**  9
- イルミネーションコントロールダイヤル** 17
- ドアミラーの調整** 7
- VDC OFFスイッチ** 11
- パワーウィンドウ** 5
- チャイルドブルーフ** 4
- シートの調整** 6

- 1. 各部の開閉** P4
- 2. 運転する前に** P6
- 3. 運転するとき** P8
- 4. その他室内装備** P16
- 5. メーター・表示灯・警告灯** P18
- 6. 日常点検/困ったときは**

1 各部の開閉

ドアの施錠・解錠

電波式リモコンドアロックによるドアの施錠・解錠

アクセスキーまたはリモコンキーのボタンを押すと、すべてのドアおよびリヤゲートの施錠・解錠ができます。



：すべてのドアおよびリヤゲートを施錠

ブザーが1回鳴り非常点滅灯(ハザードランプ)が1回点滅します。



：すべてのドアおよびリヤゲートを解錠

ブザーが2回鳴り非常点滅灯(ハザードランプ)が2回点滅します。



：リヤゲートの解錠

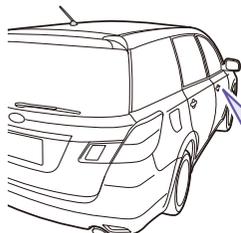
ブザーが2回鳴り非常点滅灯(ハザードランプ)が2回点滅します。

アクセスキー

リモコンキー



キーレスアクセスによるドアの施錠・解錠



解錠

アクセスキーを携帯し、運転席または助手席のドアハンドルを握ります。すべてのドアおよびリヤゲートが解錠します。



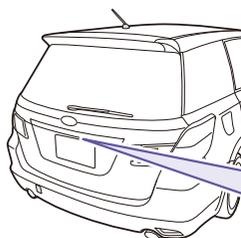
施錠

アクセスキーを携帯し、ドアハンドルのリクエストスイッチを押します。すべてのドアおよびリヤゲートが施錠します。



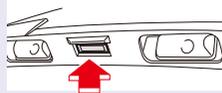
リクエストスイッチ

リヤゲートからの施錠・解錠



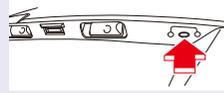
解錠

アクセスキーを携帯し、リヤゲートオープナースイッチを押します。すべてのドア(リヤゲート含む)が解錠しリヤゲートが開きます。



施錠

アクセスキーを携帯し、リクエストスイッチを押します。リヤゲートとすべてのドアが施錠します。

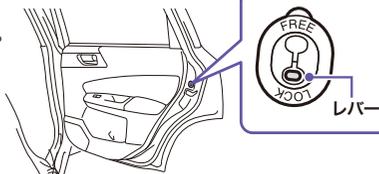


チャイルドブルーフ

レバーを「LOCK」側にしてドアを閉めると、車内からはリヤドアを開けられません。

施錠するとき：レバーを「LOCK」側にしてドアを閉める。

解除するとき：レバーを「FREE」側にする。



ドアの施錠・解錠

盗難防止機能

盗難警報装置 初期設定では作動なしになっています。

キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック）以外でドア（リヤゲート含む）が開けられたとき、車両ホーンが鳴り、非常点滅灯（ハザードランプ）が点滅します。

※作動あり／なしの設定を変更するときは取扱説明書をご覧ください。

警報を作動させてしまったときの解除方法

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装備車〉

- ・アクセスキーのいずれかのボタンを押す。
- ・アクセスキーを携帯し、エンジンスイッチをAccにする。

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外〉

- ・リモコンキーのいずれかのボタンを押す。
- ・エンジンスイッチをONにする。

イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）

車両の盗難防止のため、キーには識別コードが登録されています。登録されたキー以外ではエンジンの始動ができません。

キーナンバープレート/セキュリティIDプレート

新しいキーを作るときに必要です。

※車内以外の場所に大切に保管してください。

パワーウィンドウ



ロックスイッチ

ロックスイッチを押すと助手席と後席のウィンドウは開閉できなくなります。

集中ドアロックスイッチ

すべてのドア（リヤゲート含む）の施錠・解錠ができます。

ウィンドウスイッチ（運転席）

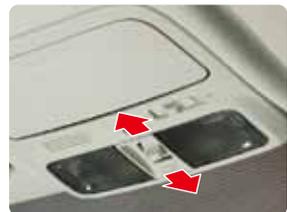
開けるとき：スイッチを押す。
閉めるとき：スイッチを引き上げる。
強く操作すると自動で全開、全閉します。

ウィンドウスイッチ（助手席、後席）

開けるとき：スイッチを押す。
閉めるとき：スイッチを引き上げる。

電動サンシェードの開閉（パノラミックガラスルーフ）

開けるとき：「OPEN」側に押す。
閉めるとき：「CLOSE」側に押す。
任意の位置で止めたいとき：開閉の途中で「OPEN」側または「CLOSE」側に押す。



2 運転する前に

シートの調整

フロントシート **パワーシート**  シートのドア側のスイッチ操作で調整ができます。

前後位置の調整



スイッチ全体を前後に動かします。

リクライニング調整



リクライニングスイッチを前後に動かして背当て角度を調整します。

上下調整



スイッチの後側を上下に動かしてシートの高さを調整します。

座面前側の高さ調整



スイッチの前側を上下に動かします。

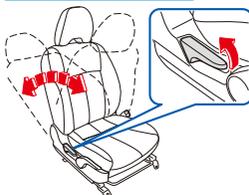
マニュアルシート  シートのドア側と下部のレバー操作で調整ができます。

前後位置の調整



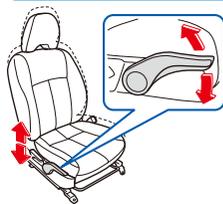
前席下部のレバーを完全に引き上げてシートを前後に動かします。

リクライニング調整



シートのドア側レバーを完全に引き上げて背当て角度を調整します。

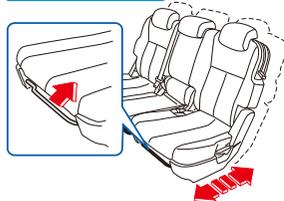
上下調整(運転席のみ)



レバーを引くたびに上がり、押すたびに下がります。

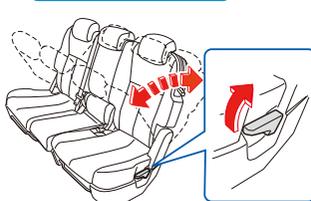
セカンドシート

前後位置の調整



足下のレバーを完全に引き上げて前後に動かします。

リクライニング調整



レバーを完全に引き上げて背当ての角度を調整します。

背当てを倒す

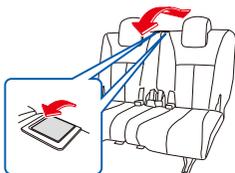


レバーを引き上げながら、左右に分割されているシートをそれぞれ倒します。

シートの調整

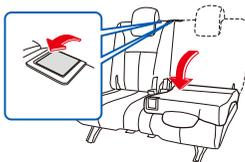
サードシート

リクライニング調整



背当て上方にあるレバーを引いて、背当ての角度を調整します。

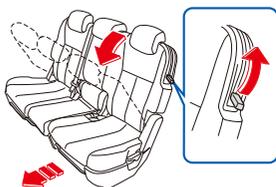
背当てを倒す



背当て上方にあるレバーを引いて、背当てを前に倒します。

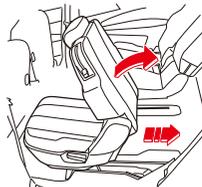
ウォークイン機構 (サードシートへのアクセス)

セカンドシートを動かす



レバーを上げると、背当てが前に倒れます。セカンドシートを前へ動かします。

元に戻す



シートを後へ動かし、背当てを引き起こします。シートが固定されたことを確認してください。

チルト/テレスコピックステアリング

運転姿勢に合わせてハンドル位置を前後または上下に調整できます。



- ①レバーを押し下げます。
- ②ハンドル位置を合わせます。
- ③レバーを引き上げます。
- ④ハンドルが固定されたことを確かめてください。

ドアミラーの調整

エンジンスイッチが Acc または ON のとき、ドアミラーの調整と格納ができます。

電動リモコンドアミラー

左右切り替えスイッチ  を押し、角度調整スイッチ  で後方を充分確認できる位置に調整します。



電動格納式ドアミラー

スイッチ  を押しこむと、左右のミラーが同時に格納されます。もう一度押すと元に戻ります。

3 運転するとき

フロントワイパー/リヤワイパー

フロントワイパー エンジンスイッチが Acc または ON のときに使用できます。



MIST
手前に引いている間、ワイパーが動きます。

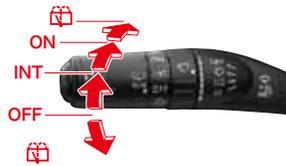
フロントウォッシャー



スイッチを押している間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが1～2回作動します。

OFF	停止 間欠作動
	 ●間欠作動の作動間隔調整 リングを上に戻す：短くなる リングを下に戻す：長くなる
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

リヤワイパー エンジンスイッチが Acc または ON のときに使用できます。



	ワイパー作動中にウォッシャー液を噴射
ON	連続作動
INT	間欠作動(車速に応じて変化)
OFF	停止
	ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが作動。 手を離すと OFF に戻ります。

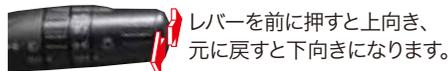
ライティングスイッチ/フォグランプスイッチ

ライティングスイッチ レバー内のスイッチを回すと次のようにランプが点灯します。



AUTO	周囲の明るさに応じて各ランプが自動点灯または消灯
	車幅灯、尾灯、番号灯、ヘッドランプが点灯
	車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
OFF	消灯

ヘッドランプの上下を切り替える



レバーを前に押しと上向き、元に戻すと下向きになります。

パッシング(合図)のしかた



レバーを手前に引いている間ヘッドランプは上向きになります。

フォグランプスイッチ



ランプ点灯時にスイッチを マークまで回すとフォグランプが点灯します。

	フォグランプが点灯
OFF	消灯

※車から離れるときは、バッテリー上がりをふせぐため、必ずライティングスイッチをOFFにしてください。

プッシュスタートシステム

電源の切り替え

ブレーキペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと、電源が

OFF ( 消灯) → Acc ( 橙色に点灯) → ON ( 橙色に点灯) → OFF ( 消灯) の順に切り替わります。

作動表示灯



橙色に点滅した場合:車両の異常が考えられます。直ちにスバル販売店にご連絡ください。

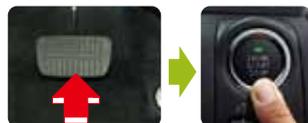


緑色に点滅した場合:ステアリングロックが解除されていません。

※解除方法は取扱説明書の「困ったときのQ&A」をご覧ください。

エンジンの始動

- ①アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
- ②駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ③セレクトレバーが **P** であることを確認します。
- ④プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が  (緑色) になるまで、ブレーキペダルを踏み込みます。
- ⑤ブレーキペダルを確実に踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。



※強い電波ノイズや、アクセスキーの電池残量不足でアクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動

- ①セレクトレバーが **P** であることを確認し、ブレーキペダルを踏みます。
- ②アクセスキーのボタン側を手前に向けて、アクセスキーをプッシュエンジンスイッチに触れるまで近づけます。プザー (ピッ) が鳴り、プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が  (緑色) に点灯します。
- ③作動表示灯が緑色に点灯してから約5秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままプッシュエンジンスイッチを押してください。



エンジンの停止

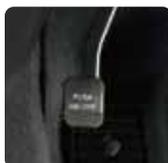
車両を完全に停止させ、セレクトレバーを **P** に入れてからプッシュエンジンスイッチを押してください。

※セレクトレバーが **P** 以外でもエンジンは停止しますが、電源は Acc ( 橙色に点灯) になります。

車両から離れるときは、電源が OFF ( 消灯) になっていることを確認してください。

※走行中プッシュエンジンスイッチを3秒以上押し続けるか、すばやく3回以上連続で押すとエンジンが停止します。緊急時以外は本操作をしないでください。

駐車ブレーキペダル

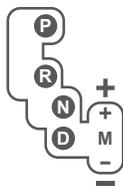


かけるとき : 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足で駐車ブレーキペダルを確実に踏み込みます。

解除するとき : 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足で駐車ブレーキペダルを「カチッ」と音がするまで踏みます。ゆっくり左足を離します。

3 運転するとき

セレクトレバー



P : パーキング(駐車およびエンジン始動位置)

R : リバース(後退位置)

※リヤビューカメラ装備車は車両後方の映像がモニターに表示されます。

N : ニュートラル(中立位置)

D : **ドライブ**(通常走行位置)

● **マニュアルモード**

D から右へ動かすと、マニュアルモードになります。



パドルシフト

マニュアルモードで変速するとき 사용합니다。

1段下のギヤに変速

左側(-)のレバーを手前に引きます。



1段上のギヤに変速

右側(+)のレバーを手前に引きます。



Dレンジでの操作

走行中、**D** のままパドルシフトを操作すると一時的にマニュアルモードに切り替わります。しばらく走行した後、通常の**D** 走行に復帰します。

SI-DRIVE (SUBARU Intelligent Drive)

※SI-DRIVE は、SUBARU Intelligent Drive に由来します。



SI-DRIVEセレクトター

SI-DRIVE※ は、3つの特性をもった走行モードを選べるシステムです。

● **I(インテリジェントモード)**

SI-DRIVE セレクトターを押します。



● **S(スポーツモード)**

SI-DRIVE セレクトターを左に回します。



● **S#(スポーツシャープモード)**

SI-DRIVE セレクトターを右に回します。メーター内表示灯



各モードの特性は取扱説明書3章をご覧ください。

クルーズコントロール

EyeSight ver.2 については、P.12 をご覧ください。

アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つことができる機能です。



CRUISE
スイッチ

RES/ACC
スイッチ

SET/COAST
スイッチ

CANCEL
スイッチ

作動させるとき：CRUISE スイッチを押す。

停止するとき：CRUISE スイッチをもう一度押す。車速を下げる：SET/COAST スイッチを押す。

●速度をセットするとき：

希望する車速のときに SET/COAST スイッチを押す。

●一時解除：

ブレーキペダルを踏む、または CANCEL スイッチを押す。

●一時解除の復帰：RES/ACC スイッチを押す。

●セット速度の調整：

車速を上げる：RES/ACC スイッチを押す。

車速を下げる：SET/COAST スイッチを押す。

アイドリングストップ

詳細は取扱説明書 3 章をご覧ください。

アイドリングストップとは、信号待ちや渋滞などで停車すると、燃費向上やアイドリング騒音低減のため自動でエンジンを停止・再始動させるシステムです。

アイドリングストップ、エンジンの再始動

走行中

走行中にアイドリングストップが作動可能な条件を満たすと、アイドリングストップ表示灯が点灯します。



点灯

アイドリング
ストップ表示灯

アイドリングストップ作動

D のままブレーキペダルを踏んで停車すると、エンジンが自動的に停止します。



点灯

エンジン再始動

D のままブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動します。アイドリングストップ表示灯は消灯します。



消灯



走行中



停車 **アイドリングストップ**



エンジン始動

アイドリングストップの作動を OFF にする

アイドリングストップ OFF スイッチを押します。アイドリングストップが作動停止状態になります。メーター内のアイドリングストップ OFF 表示灯 (黄色) が点灯します。



アイドリングストップ
OFF 表示灯

表示灯の位置は P.18 を参照



アイドリング
ストップ OFF
スイッチ

※アイドリングストップ中の操作、アイドリングストップが作動可能な条件、エンジン再始動条件の詳細は、取扱説明書を参照してください。

VDC OFFスイッチ



VDC (ビークルダイナミクスコントロール) システムを一時的に OFF にしたい場合に押します。作動可能状態に復帰させるときには、もう一度 VDC OFF スイッチを押します。

※通常は ON でご使用ください。OFF にする場合については取扱説明書をご覧ください。

3 運転するとき

EyeSight(アイサイト) ver.2

詳細はEyeSight ver.2 取扱説明書をご覧ください。



EyeSight(アイサイト)ver.2は自動運転/自動衝突回避システムではありません。
EyeSight(アイサイト)ver.2だけに頼った運転は、絶対に行わないでください。周囲の状況に注意して安全運転に努めてください。ご使用前には必ずEyeSight ver.2 取扱説明書をお読みください。

EyeSight(アイサイト)ver.2はさまざまな機能によって運転者の判断を助け、安全・快適で疲れの少ない運転を可能にする運転支援システムです。2台のCCDカメラでのステレオ画像処理技術を駆使し、前方道路環境を認識します。

メーター表示構成

マルチインフォメーションディスプレイ

先行車表示

先行車を認識すると表示。

定速クルーズ表示

追従クルーズ表示

クルーズコントロールのメインスイッチ を押すと表示。

SET表示

クルーズコントロールをセットすると表示。

セット車速表示

車線表示(左/右)

ハンドル表示

車線逸脱警報、ふらつき警報が作動したとき点滅。

車間設定表示

車間設定を表示。

READY表示

セット可能な状態になると表示。

SI-DRIVE モード表示灯

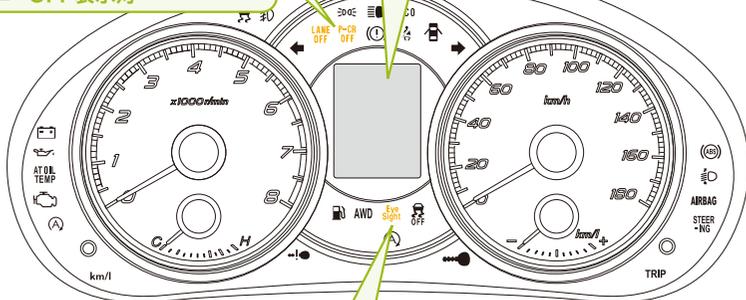


LANE OFF

車線逸脱警報OFF表示灯

P-CR OFF

プリクラッシュブレーキOFF表示灯



EyeSight 警告灯

EyeSight(アイサイト) ver.2

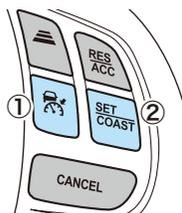
詳細はEyeSight ver.2 取扱説明書をご覧ください。

全車速追従機能付クルーズコントロール

同一車線内に先行車がいる場合は、セット車速を上限として追従走行します。同一車線内に先行車がない場合は、セットした車速で定速走行します。先行車の停止に続いて停止した場合は、停止後すぐにゆっくりと自動ブレーキが解除され、クリープ走行を開始します。必ずブレーキペダルを踏んで車両を停止させてください。**本機能は高速道路などの自動車専用道路でお使いください。**

※追従走行のとき、SI-DRIVE (SUBARU Intelligent Drive) に連動して追従特性を切り替えます。詳細はEyeSight ver.2 取扱説明書をご覧ください。

全車速追従機能付クルーズコントロールの開始と終了



開始する

-  (クルーズ) スイッチを押します。
 (追従クルーズ表示)、 (車間設定表示)、セット車速表示部に $---\text{km/h}$ が表示されます。セット可能状態になると **READY** (READY表示) が表示されます。
- SET/COAST** スイッチを押します。全車速追従機能付クルーズコントロールがセットされます。**SET** (SET表示) と **セット車速** が表示されます。

終了する

-  (クルーズ) スイッチを押します。
- 追従クルーズ表示**
-
- 車間設定表示
READY表示
セット車速表示

- ・ 自車速が約 40km/h 以下のときにセットした場合、セット車速は自動的に 40km/h に設定されます。
- ・ 約 30km/h 以下において、約 30m 以内で追従走行していた先行車を認識しなくなったときは、ブザー(ピープ)が鳴り、自動的に全車速追従機能付クルーズコントロールを解除します。



先行車がいる場合



先行車がない場合

車間距離の設定

 (車間設定) スイッチを押すごとに車間距離が「長」→「中」→「短」→「長」…の順に切り替わります。



車間距離は車速に応じて変わります。高速であるほど車間距離は長くなります。

一時解除からの復帰

RES/ACC スイッチを押します。一時解除前のセット車速でセットされ、制御を開始します。

一時解除

- ・ **CANCEL** (キャンセル) スイッチを押す。
- ・ ブレーキペダルを踏む。

いずれかの操作で全車速追従機能付クルーズコントロールが一時解除されます。

セット車速の変更

セット車速を上げる

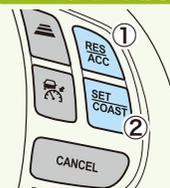
- ① 走行中に **RES/ACC** スイッチを押します。

※追従走行中はセット車速を上げてても先行車の速度以上に加速しませんが、先行車を認識しなくなると上げたセット車速まで加速します。セット車速はセット車速表示を確認しながら変更してください。

セット車速を下げる

- ② 走行中に **SET/COAST** スイッチを押します。

※アクセル、ブレーキペダルでの加速/減速もできます。



3 運転するとき

EyeSight(アイサイト) ver.2

詳細はEyeSight ver.2 取扱説明書をご覧ください。

プリクラッシュブレーキ

主に前方車両に衝突する可能性がある場合、運転者への警報による衝突回避の支援を行います。それでも運転者の衝突回避操作がない場合、衝突の直前に自動的に急ブレーキをかけ、衝突被害を軽減または衝突を回避します。

※プリクラッシュブレーキを日常の車両停止のためには絶対に使用しないでください。プリクラッシュブレーキはあらゆる状況で衝突を回避するものではありません。ブレーキの作動をプリクラッシュブレーキのみに頼っていると、衝突事故を起こす場合があります。

※プリクラッシュブレーキは、車両、二輪車、自転車、歩行者を制御の対象としていますが、条件によって作動しないことがあります。条件の詳細は EyeSight ver.2 取扱説明書をご覧ください。

車間距離警報

衝突の可能性がある

ブザーと表示でお知らせ。



1次ブレーキおよび警報

衝突の可能性が高い

弱いブレーキが作動。
ブザーと表示でお知らせ。



2次ブレーキおよび警報

衝突の可能性が非常に高い

強いブレーキが作動。
ブザーと表示でお知らせ。

※衝突寸前に衝突回避できないと判断した場合は、運転者の操作にかかわらずブレーキ制御を継続します。



※「プリクラッシュブレーキ」を OFF にすることができます。詳しくは EyeSight ver.2 取扱説明書をご覧ください。

AT誤発進抑制制御

セレクトレバーの位置の入れ間違いやペダルの踏み間違いなどによる誤った前進を抑制します。この機能はセレクトレバーが **D** またはマニュアルモードで作動します。

※「AT 誤発進抑制制御」を OFF にすることができます。詳しくは EyeSight ver.2 取扱説明書をご覧ください。



車線逸脱警報

車線を逸脱しそうになる（走行車線から外れそうになると、ブザーが鳴り、ハンドル表示と左右の車線表示が同時に点滅します。車速が約 40 km/h 以上で作動します。

※「車線逸脱警報」を OFF にすることができます。詳しくは EyeSight ver.2 取扱説明書をご覧ください。



EyeSight(アイサイト) ver.2

詳細はEyeSight ver.2 取扱説明書をご覧ください。

ふらつき警報

疲れやよそ見、ぼんやり運転、横風などによるふらつきを認識すると、ブザーが鳴り、ハンドル表示が点滅、車線表示が左右交互に点滅します。

車速が約 50km/h 以上で作動します。

※「ふらつき警報」を OFF にすることができます。

詳しくは EyeSight ver.2 取扱説明書をご覧ください。



先行車発進お知らせ

先行車が発進して、約 3m 以上進んでも自車が発進しないとき、ブザーが鳴り、先行車表示が点滅します。

この機能はセレクトレバーが **D**、**N** またはマニュアルモードのとき作動します。

※「先行車発進お知らせ」を OFF にすることができます。詳しくは EyeSight ver.2 取扱説明書をご覧ください。



定速クルーズコントロールへの切り替え

クルーズメイン ON でクルーズコントロールをセットしていないとき、 (車間設定) スイッチを2秒以上押しすと、全車速追従機能付/定速クルーズコントロールが切り替わります。

 (クルーズ) スイッチを押ししたときは常に全車速追従機能付クルーズコントロールとして起動します。

※どちらのクルーズコントロールが選択されているかマルチインフォメーションディスプレイで確認してください。

車間設定表示あり



全車速追従機能付
クルーズコントロール

車間設定表示なし



定速クルーズコントロール

※定速クルーズコントロールについての詳細は EyeSight ver.2 取扱説明書をご覧ください。

4 その他室内装備

エアコンの操作

温度調整ダイヤル

室内温度を調整できます。

左右独立機能: 運転席側、助手席側で設定温度をそれぞれ調整できます。

左右連動機能: 運転席側ダイヤルで、運転席側と助手席側の両方の設定温度を調整できます。

デフロスタースイッチ

フロントガラス、サイドガラスの曇りや霜をとります。

AUTOスイッチ

フルオートで使うときに押します。

フルオートでの使いかた



① AUTOスイッチを押します。表示部に「FULL AUTO」と表示されます。



助手席側



運転席側

② 左右それぞれのダイヤルで、希望温度に調整します。



風量調整スイッチ

風量を調整できます。

モード(吹き出し口)切り替えスイッチ

吹き出し口を切り替えます。

OFFスイッチ

エアコンをOFFにします。

A/Cスイッチ

冷房・除湿機能のON/OFFを切り替えます。

内外気切り替えスイッチ

内気循環と外気導入が切り替わります。
※通常は外気導入をお使いください。

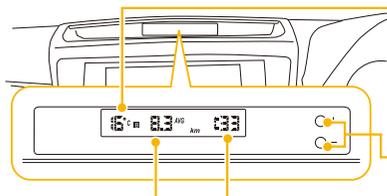
リヤウインドウデフォグガー

リヤガラスの内側の曇りを取ります。約15分後に自動的にOFFになります。ヒートドアマミラーとフロントワイパーアイサーも連動して作動します。

DUALスイッチ

運転席と助手席側の送風温度を別々に設定できます。左右独立調整(DUAL)時にスイッチの表示灯が点灯します。

外気温度計／インフォメーションメーター／時計



外気温時計

外気温度を表示します。
外気温度が 3°C 以下になると温度表示が点滅します。
(路面凍結警告表示)

時計

時計表示の合わせかた

「+」ボタンまたは「-」ボタンを押すと、1 分きざみで時刻が切り替わります。
詳細は取扱説明書をご覧ください。

インフォメーション表示

※ノブの場所は P18、19 の表示灯・警告灯のページを参照してください。

エンジンスイッチが ON のとき、各メーター内の切り替えノブを押すごとに表示が切り替わります。

インフォメーション表示切り替えノブ[※]を押します。

トリップメーターがトリップ A のとき  瞬間燃費計  平均燃費計(トリップ A)

トリップメーターがトリップ B のとき  瞬間燃費計  平均燃費計(トリップ B)

はっ水ガラス

フロントドアガラスについて水滴をはじき、走行中でも視界を良好に保ちます。はっ水加工は消耗品です。

はっ水効果を長持ちさせるために下記の項目に注意してください。

- ・フロントドアガラスの汚れはやわらかい湿った布などで拭いてください。
- ・自動洗車機を使用するときは、フロントドアガラスの汚れを上記のように取り除いてから洗車してください。

水滴のはじきが悪くなった場合は補修が必要です。詳細は取扱説明書 6 章をお読みください。

イルミネーションコントロールダイヤル

メーター、オーディオなどの明るさを調整できます。

明るくする：上方向に回す

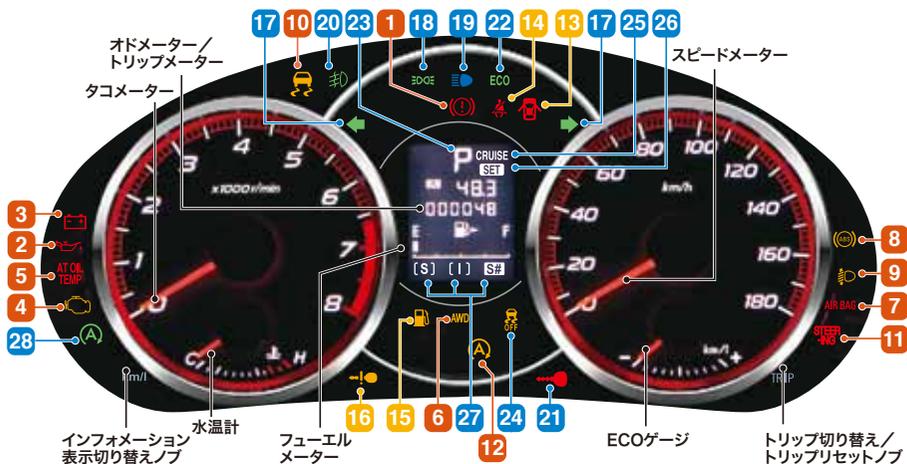
暗くする：下方向に回す

〈ブライツ(減光キャンセル)機能〉

ダイヤルを一番明るい段階から、さらに上方向(●印部分)に回すと、ライトを点灯しても表示部の明るさが減光しません。



5 メーター・表示灯・警告灯



※エンジン始動直後は自己診断のため数秒間点灯するものがあります。

1 ブレーキ警告灯



駐車ブレーキがかかっているとき点灯。ブレーキ液量が不足しているとき点灯。その他異常時に点灯。

2 オイルプレッシャー警告灯



エンジンオイルの圧力に異常があるとき点灯。

3 チャージ警告灯



充電系統に異常があるとき点灯。

4 エンジン警告灯



エンジン電子制御システム異常時点灯。触媒を損傷する可能性があるとき点滅。

5 AT油温警告灯



ATまたはCVTのトランスミッションフルードの温度が高くなると点灯。異常時に点滅。

6 AWD警告灯



異なる径や空気圧の著しく低下したタイヤで走行したとき点滅。

7 SRSエアバッグ警告灯



エアバッグシステムに異常があるとき点灯。

8 ABS警告灯



アンチロックブレーキシステム(ABS)異常時に点灯。

9 オートヘッドランプレベラー警告灯



オートヘッドランプレベラー(自動光軸調整機構)のシステム異常時に点灯。

10 VDC警告灯/VDC作動表示灯



警告灯：VDCの電子制御システムに異常があるとき点灯。
表示灯：VDC/TCS作動時に点滅。

11 ステアリング制御警告灯



電動パワーステアリングのシステムに異常があるとき点灯。

12 アイドリングストップ警告灯/アイドリングストップOFF表示灯



警告灯：アイドリングストップシステム異常時に点滅。
表示灯：アイドリングストップOFFスイッチを押してシステムを解除すると点灯。

13 半ドア警告灯



ドア、リヤゲートが完全に閉じていないとき点灯。

★グレードにより装備されていない機能もありますが、レイアウト全での表示灯・警告灯を記載しています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
※ EyeSight ver.2 のメーターについては別冊「エクシーガ EyeSight ver.2 取扱説明書」をご覧ください。

14 シートベルト警告灯



運転席シートベルト未着用時点灯。
そのまま約 20km/h 以上で走行
すると点滅&ブザー。

15 燃料残量警告灯



燃料残量が約 9L 以下になると点灯。

16 キー無し警告灯



(キーレスアクセス&
プッシュスタート装備車)

車内にアクセスキーが無い場合に点滅。

17 方向指示器表示灯



方向指示器と同じように点滅。電球
が切れたときは点滅速度が速くなる。

18 ライティングスイッチ表示灯



ライティングスイッチが☺☺☺または☺☺
位置のとき点灯。
AUTO では周囲が暗くなると点灯。

19 ハイビーム/パッシング 表示灯



ヘッドランプが上向きするとき点灯。
パッシング時も点灯。

20 フロントフォグランプ 表示灯



フロントフォグランプが点灯している
とき点灯。

21 セキュリティ表示灯



盗難防止機能がはたらいているとき
点灯/点滅。
詳しくは取扱説明書を参照。

22 Info-ECO(インフォ・ エコ)表示灯



SI-DRIVE でI(インテリジェントモード)
を選択したときに点灯。

23 シフトポジション表示灯/ セレクトインジケータ



マニュアルモード選択時にギヤ位置を
表示/セレクトレバーの位置を表示。

24 VDC OFF表示灯



VDC OFF スイッチを押して VDC
を作動停止にしたとき点灯。

25 クルーズコントロール 表示灯



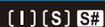
ステアリングの CRUISE スイッチを
押すと点灯。

26 クルーズコントロール車速セット表示灯



クルーズコントロール表示灯が点灯している状態で、速度
をセットすると点灯。

27 SI-DRIVE表示灯



SI-DRIVE で選択されているモードを表示。

28 アイドリングストップ表示灯



アイドリングストップの作動条件を満たしたとき、または
アイドリングストップ中に点灯。

1～12 異常時に点灯/点滅。取扱説明書を確認の上、お近くのスバル販売店へご相談ください。

13～16 取扱説明書記載の正しい対応方法に従ってください。

17～28 各装置の状態を示します。

6 日常点検／困ったときは

★詳しくはメンテナンスノート、取扱説明書をご覧ください。

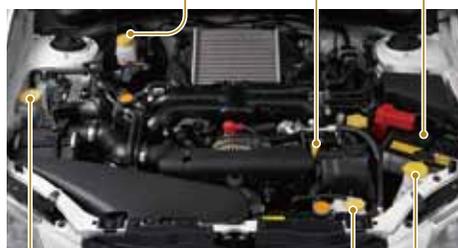
日常点検

日常点検とは、日頃ドライバー自身の責任で行うように法律で義務づけられた点検です。安全に走行するために大切な項目ばかりですので、日常点検を実施するように心掛けてください。

点検方法はメンテナンスノート4章をお読みください

エンジンルーム内 下記の項目の内容量を点検してください。

ブレーキフルード エンジンオイル
(ターボ車) リザーバータンク レベルゲージ バッテリー



パワーステアリングフルードリザーバータンク

ウィンドウウォッシャータンク

運転席に座って

- エンジンのかかり具合、異音の有無を点検します。
- ブレーキペダルの踏みしるを点検します。
- ウィンドウウォッシャーの噴射状態を点検します。
- ワイパーの払拭状態の点検をします。

車のまわり

- タイヤの空気圧 / き裂、損傷、異常摩耗がないか / 溝の深さを点検します。



4輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一レッドパターン(溝模様)のタイヤを装着してください。4輪とも同じタイヤを使用しないと、駆動システムを損傷したり、最悪の場合火災に至る可能性があります。

- 各ランプ、方向指示器を作動させ、状態を点検します。レンズの汚れ、損傷も点検します。

走行して

- ブレーキのきき具合を点検します。
- エンジンの低速および加速状態を点検します。
- 運行において異常が認められた箇所を点検します。

困ったときは

取扱説明書の「困ったときのQ&A」を参照してください。取扱説明書に記載がある方法で対処しても作動しない、改善しないときは、スバル販売店にご連絡ください。

お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUコール  0120-052215

受付時間 【平日】 9:00～17:00
【土日祝】 9:00～12:00、13:00～17:00

※平日の12:00～13:00および土日祝は(1)のインフォメーションサービスのみのとなります。

SUBARUお客様センター

富士重工株式会社

〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2 (スバルビル)

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。

- (1) ご意見 / ご感想 / ご案内 (カタログ、販売店、転居お手續 他)
- (2) お問い合わせ / ご相談

お問い合わせ先スバル販売店

●スバル最新情報をインターネットで。 www.subaru.jp

Publication No. F6650JJ-A

発行 2013年1月 Printed in Japan SZ

富士重工業株式会社 スバルカスタマーセンター